

3. 論文の採否: 論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。ただし、シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。
4. 論文の訂正: 査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文: 論文が採択された場合、原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し、編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎、また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし、特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正: 校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載: 論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円(税込)、超過頁は1頁につき7,350円(税込)、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は31,500円(税込)、6頁以上は1頁毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
8. 著作権: 当誌に掲載する著作物の複写、複製、転載、翻訳、データベースへのとりこみ及び送信等の権利は、泌尿器科紀要刊行会に帰属するものとする。
9. 別刷: 30部までは無料とし、それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

編 集 後 記

健康維持のためにスポーツジムに通っている。2週間に1度程度しか行けないが、時間をみつけて約1時間ウォーキングマシンで歩いている。ウォーキングマシンにはテレビがついているのだが、先日、元京都大学教授（現医学部客員教授）で高名な免疫学者H先生の「生命科学からみた幸せ」という対談が放送されていた。

生物が存続し進化するためには、食欲、性欲、競争欲という三欲が必要で、それを達成した時には気持ちが良くなる（幸福を感じる）仕組みをわれわれは持っている。これら追求型の幸福感には際限が無いが、H先生によると、生命科学的にはもうひとつの幸福があるそうだ。それは危険（具体的には「死」）への不安感が解消される時に感じる幸福で、重要なことは、この幸福感は際限の無いものではなく、様々な経験や発想の転換で充足することが可能であるという。現代社会に求められているのは、この不安解消型の幸福ではなからうか。生命科学から見ても「死」は進化のために不可欠な事象である。「死」を受け入れながらも、不安感を出来るだけ軽減するような社会的仕組みが、生命科学の視点からも重要だということが納得できた。

対談ではH教授の研究成功の秘訣も話題になった。週に1度は研究を忘れて大好きなスポーツでストレスを発散させることが良い仕事をする秘訣であるとのことだった。私も時々一緒に遊ぶ機会があるが、グリーン上での並み外れた集中力に驚かされる。あれこれ考えているうちに、2時間も歩いてしまっていた。心地良い疲れとおもしろい話を聞いた充実感で幸せな気分の休日だった。

(小川 修)